

アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）フォーミュラリー

※ 推奨対象に該当しない場合は、第1推奨薬への切り替えをご検討下さい。

標準治療薬の推奨リスト		推奨/選択理由
第1 推奨薬	<p>オルメサルタンOD錠20mg</p> <p>カンデサルタンOD錠4mg 8mg</p>	<p>各ガイドラインでARBは薬効群(クラスエフェクト)として推奨されており、特定の薬剤は推奨されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オルメサルタン40mgはアジルサルタン40mgに次いで降圧効果が高い ・カンデサルタンのみ『腎実質性高血圧症、慢性心不全（ACE阻害薬が使用できない場合）、1歳以上の小児の高血圧』に対して適応がある ※腎障害合併例では8mgが上限
第2 推奨薬	アジルサルタンOD20mg	<p>【推奨対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オルメサルタン40mg等、他のARB最高用量でも降圧が不十分な場合 ⇒ アジルサルタンを <u>40mg/日</u> で用いる

▷ 疾患によってはARBよりACE阻害薬の方がイベント抑制効果に優れるとする報告があるため、ACE阻害薬（エナラプリル等）の使用も考慮する。

▷ ACE阻害薬に忍容性のない患者や効果不十分な患者等については、ARBを選択する（ACE阻害薬の方が咳等の有害事象の発生頻度が高い）。

切り替え時の標準的換算量					
(第1推奨薬への切り替え検討時に参考にして下さい。)					
		降圧効果			大きい
第2 推奨薬	アジルサルタンOD錠20mg		10mg	20mg	40mg

↓
アジルサルタン10～20mg/日で
血圧コントロール可能な場合

第1 推奨薬	オルメサルタンOD錠20mg	10mg	20mg		40mg	
第1 推奨薬	カンデサルタンOD錠4mg・8mg	4mg	8mg	12mg 腎不全症例には 12mgは禁		

↑

採用 なし	イルベサルタン	50mg	100mg	200mg		
採用 なし	テルミサルタン	20mg	40mg		80mg	
採用 なし	バルサルタン	40mg	80mg	160mg		
採用 なし	ロサルタン	25mg	50mg	100mg		